

第5回高浜発電所に係る地域協議会幹事会議事録

令和2年11月9日
京都府綾部総合庁舎
普及センター2階第1会議室

○ 司会

定刻になりましたので、ただいまから高浜発電所に係る地域協議会幹事会を始めさせていただきます。進行は、私、京都府危機管理部の松村がさせていただきます。最初に京都府の壺内危機管理部長から挨拶をさせていただきます。

○ 京都府壺内危機管理部長

皆様ご苦労様でございます。京都府危機管理部長の壺内でございます。本日は大変お忙しい中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

関西電力の金品受領問題につきましては、先日3日の地域協議会におきまして、関西電力から信頼回復に向けた取り組みをご説明、それから、国からは責任を持ってしっかりと監督指導していくという表明がございました。今後、関西電力から定期的に取り組み成果をご報告いただきまして、我々、府と関係UPZ市町で動きを確認していくこととしたところでございます。

その後、経済産業省の方から、府、それから関係市町に対しまして、高浜1・2号機についての協力要請がきたということでございます。本日はこの金品受領問題の今後の取り扱いと高浜1・2号機の取り扱いにつきまして皆さんとご相談させていただきたくお集まりいただいたところです。ぜひ、忌憚のないご意見を賜りますようよろしくお願ひします。それでは本日よろしくお願ひします。

○ 司会

本日の議事につきましては、最初に関西電力の金品受領問題に係る今後の取り扱いにつきまして、そして、二つ目としまして、高浜発電所1・2号機の取り扱いについてということになります。

まず、一つ目の議事の説明でございますが、関西電力の金品受領問題に係る今後の取り扱いについて、3日の協議会で取りまとめがございましたが、今後、どのように取り扱っていくのかを、この場で、皆様と相談させていただきたいと思ひます。ご発言をよろしくお願ひいたします。

○ 舞鶴市堤副市長

去る3日に開かれました地域協議会で議論されたとおり、原子力発電所の運転というのは、地域社会の信頼を得られることが絶対条件だと考えております。関西電力におかれては、全力を挙げて、業務改善計画を実行していただいて、府民、市民

の信頼の回復を図っていただくというのが第一だと思っておりますので、その辺について今後しっかり確認をさせていただくということが最も大切だと思っておりますし、今後出てくるであろう高浜発電所1・2号機再稼働についても、その辺のことをしっかり確認させていただいて、地域協議会を通じて、舞鶴市としては、信頼性、安全性を確認させていただきたいと考えてございます。

○ 綾部市山崎副市長

金品受領問題について、私も3日に地域協議会に出席させていただきました。知事からもお話がありましたが、この問題というのは、一旦崩れた信用はなかなか一気に取り戻せないと思っておりますし、やはり住民の方に対する不安感も大きくなったと思っておりますし、いずれにしても、この問題による信頼回復というのは、やはり時間をかけて着実に関西電力が変わったということを住民の方に理解していただくしかないと思っております。関西電力が生まれ変わった、あるいは信頼を取り戻した、そういった日々の取り組みの積み重ねが大変重要であろうと思っておりますので、こういったことを行政をはじめ住民の方々にしっかり報告していかれる、そういった過程が大変重要になってくると思っております。その中で、一定、途中経過も含めて、報告をいただくということもおっしゃっていますので、そういった取り組みがどのように進んでいくのかということに対しては、しっかり見守っていきたいと思っております。

○ 福知山市伊東副市長

この金品受領問題について、先般の地域協議会の中で、業務改善計画の実行状況について定期的に報告し、確認していくというようなことだったと思っておりますけれども、どれぐらいの頻度で報告を受けるのかをしっかりと決めておくべきではないかと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思っております。

○ 京都府壺内危機管理部長

私の方から、報告の頻度、定期的に報告を受けるという抽象的な表現ですけれども、関西電力から業務改善計画を経済産業省に出していますけれども、次の報告は年度末あたりのようなようです。そこで経産省に報告され、府や関係市町にも報告をいただくということになるかと思っております。インターバルとしては半年に一度ぐらいになるかと思っておりますので、そういったタイミングで必ず府とUPZ市町の方に報告するようにということを協議会として申し入れを行うということではいかがかなと思っております。地域協議会としては半年に一度というぐらいで思っていますよということで、関西電力にそういう心構えでいていただくように申し入れをしてはどうかと思っておりますがいかがでしょうか。

○ 京丹波町谷副町長

要は業務改善計画が進んでいるということの確認になるかと思うのですけれども、協議会としては、信頼が回復できた・できていないという判断基準を持っていないと思っておりますので、そういう信頼が回復できているなというのを言葉のニュアン

スで捉えるしかないと思いますが、やはりしっかり頻度を含めて丁寧に説明を求めていくのが必要だと感じます。

○ **京都府壺内危機管理部長**

少し努力したからといって信頼回復できるとは、皆さん、関西電力も含めて思っていないでしょうし、不断の努力を続けていただいてそれを見ていただくことによって信頼が自然に生まれていくものと思うのですが、例えば、報告を受ける時に、個別に報告なりを各市町でも受けていただいたらいいと思うのですが、もし報告内容に疑義があるような場合は再度この幹事会などのメンバーで、必要ということであれば、ヒアリングを行っていくということもあわせて取り決めさせていただくことでどうでしょうか。

○ **宮津市今井副市長**

今、危機管理部長がおっしゃられたようにしっかりと協議会で聞いていくことが大事だと思います。着実にやっていただかざるを得ない話ですし、そういうかたちで進めていただければと思います。

○ **伊根町上山副町長**

信頼回復についてはすぐに信頼を回復できることはないと思います。時間をかけて信頼回復に向けた取り組みを最大限していただかないといけないと思いますので、半年に一度程度の報告で十分対応できるのではないかと考えています。

○ **南丹市國府危機管理監**

報告について疑義があった場合の監視も全体でしていくということでありまして、そのように進めていただければと思います。

○ **京都府壺内危機管理部長**

そうしましたら、金品問題についてはそのように取り扱いさせていただくということで、半年に一度、定期的に報告を聞くということと、疑義があれば幹事会等でヒアリングを設けてチェックを行っていくということで進めさせていただきたいと思いません。

○ **司会**

そうしましたら、次に議事の2つ目でございますが、高浜発電所1・2号機の取扱いということで、3日の地域協議会の後、経済産業省から京都府に対しまして、高浜1・2号機について依頼がありました。皆様のところにも訪問があったと思いますが、この対応につきまして皆様のお考えをお聞きして、結果について協議会に報告したいと思います。それでは、ご意見の方をよろしくお願いたします。

○ **舞鶴市堤副市長**

高浜1・2号機に取扱いについては、市長も、地域協議会その他様々な場面で、何度も繰り返していますが、40年を超える原子力施設の再稼働は初めてのケースでございます、これまでの枠組みとは考え方が異なるだろうと考えております。

従いまして、専門性の高い部分でもあるのですけれども、しっかりと地域協議会を通じて、安全性といった点については納得がいくまで確認をさせていただきたいと思っております。また、内容によっては原子力の専門家、それぞれの専門分野の先生方のご意見、知見も聞かせていただいで、市として一定の判断をしたいと考えております。

○ 綾部市山崎副市長

この設置後 40 年を経過した高浜 1・2 号機の安全対策については、4 年前に関係市町で現地も見させていただいた経過がありますが、その当時に三澤先生がおっしゃっていた内容でちょっと気になる点がありまして、いわゆる取り替えることができない原子炉格納容器などの健全性については、丁寧な説明が必要だという意見があったのですが、これを更に延長使用して大丈夫かという意見がその当時あったのですが、それから、クレーンの事故あるいは金品問題などいろいろあって、高浜 1・2 号機の安全性の議論が中断しているという状況でございます。私共も、この前の地域協議会で少しお話をさせていただいたのは、本当にこの間の水漏れ事故、原子炉自動停止、クレーン事故、本当に 100%安全であるという確信がどこまで持てるのかということで、やっぱり 100%安全ではないというのを補う点では、当然、原子力発電所の安全対策はもちろんですけれども、いざという時には避難対策をセットで考えるべきだと従来から申し上げていることでございます。こういった少しでも不安を取り除くために、避難路など避難対策を十分にやっていく必要もありますので、国に積極的な支援も当然お願いしていくということになります。特に綾部市については立地する高浜町、おおい町と隣接しておりますし、その中のUPZに 8 千人ほど住民がおられます。多くの市民に影響がございまして、これも舞鶴市さんがおっしゃっているように、立地自治体と同様にいわゆる同意権の付与をお願いしていきたいと思っております。当然 1・2 号機を動かすとなれば、やっぱり多くの住民が関心をもっておられますので、安全対策等を関係住民が十分理解できるような対策を打っていただくということを地域協議会等でも求めていきたいと思っております。

○ 宮津市今井副市長

40 年超え原発の再稼働ということで、これまでとは異なる新たな段階であるならば、安全性の確保についてしっかりと市民にも説明をしていただかない限り、なかなか前に進むことはできないと思います。しっかりと地域協議会等で確認しながら進めていくということが必要と思います。

○ 伊根町上山副町長

伊根町としても同様の考え方です。もちろん原子力施設の基準については国の方も高いハードルを設けているのだらうと思いますけれども、住民の方が安心、安全を確認できるころまで十分説明してもらうことが必要ですし、引き続き要望、要

求していくべきだと考えます。

○ 福知山市伊東副市長

やはり、技術的な説明を何らかのしっかりとした確認をしていく必要があります。地域協議会としても専門家の方に入っていただいて技術的な観点からもしっかりと安全性を確認していくべきと思います。

○ 京丹波町谷副町長

最近の報道で福井県の方でかなり動きがありますが、そういった同意のプロセスはこちらには当然無いわけでありましてけれども、安全性を担保していくということでもしっかり説明を受けるということは非常に大切でございますし、安全対策工事も行われたということですので、専門的なことはなかなか難しいですが、分かりやすく、しっかり説明をお願いしたいと思います。

○ 南丹市國府危機管理監

日本国内で40年超の初めての取組みなので、技術的なことはなかなか分かりませんが、そんな中で、果たしてどれだけの安全性が担保できるのかということもありますし、住民の皆様にも十分理解できるような説明をお願いしたいと思っております。

○ 京都府壺内危機管理部長

今、皆さんからご意見をお聞きいたしました。大体皆さん一致されているかと思っております。とにかく避難路も含めて、安全性の問題をきちんとした説明を地域協議会で受けるべきだろうということと、それから、非常に専門的、金属、コンクリートの問題になってくるので、専門家の意見も一緒に聞いてもらわないといけないというような話に、大体皆さんからそういうご意見があったかと思うのですが、よろしいでしょうか。（異議無し）

そうしましたら、今後の地域協議会の進め方ということでございます。まずは高浜1・2号機については、関西電力だけでなく国の方も出席いただいて、きちんと説明をまず求めるということで、綾部市さんがおっしゃったように、4年前からクレーンの問題ですとか、今の金品受領問題で、議論が中断しているということでございますので、安全性の問題、府民の安心・安全が一番大事でございますので、議論を再開させていただき、その際に、府の原子力防災専門委員に金属、コンクリートの先生も就任いただいておりますので、そういう方々に地域協議会に参画いただく中で、非常に難解な技術的な問題については我々をサポートしていただくかたちで協議していくということで考えたいと思いますが、皆さんいかがでしょうか。（異議無し）

それでは、早速ですけれども、地域協議会における高浜発電所1・2号機についての協議を再開させていただくということで、日程調整を速やかにさせていただこうと思っております。よろしくお願いたします。

○ 司会

予定していました議題が全て終わりました。以上をもちまして、高浜発電所に係る地域協議会幹事会を終了させていただきます。

以 上